

補助金調書

補助金名	公共交通バリアフリー化促進事業(鉄道駅)			担当課 (連絡先)	住宅都市局都市計画部公共交通推進課 (TEL 733-5405)
交付先	<input type="checkbox"/> 団体	【交通事業者】		区分	建設費に対する補助金
交付先決定方法	<input type="checkbox"/> 公募	(公募の場合) 公募時期	随時		
(公募の場合) 応募要件	補助目的を達成し得る団体				
(非公募の場合) 非公募の理由					
補助開始年度	平成14	年度	経過年数	14	年度
補助金の目的 及び 補助対象事業	<p>【補助金の目的】 高齢者や障がいのある人をはじめ全ての鉄道利用者が、安全且つ円滑に駅旅客施設を利用することを目的として、鉄道事業者による駅のバリアフリー化設備整備にあたり、段差解消に係るエレベーター等の設置費用の一部について公費による支援を行うもの。</p> <p>【補助対象事業】 公共交通バリアフリー化促進事業</p>				
補助金の終期	平成28	年度	延長回数		回
終期を延長する理由					
交付対象経費及び 補助金の算定方法等	<p>【補助対象経費、補助金額の算定方法・考え方】</p> <p>補助対象経費に3分の1を乗じて得た額以内</p> <p><input type="checkbox"/> 定額 <input type="checkbox"/> 定率</p>				
(間接補助の場合) 間接補助とする理由 及び再交付先への配 分基準、審査基準	【間接補助の理由、再交付の配分基準・審査基準】				
交付状況等 【上段:交付件数】 【下段:決算】 (※1)	当該年度	前年度	前々年度	前々々年度	
	件	1 件	1 件	0 件	
	53,649 千円	50,669 千円	33,333 千円	0 千円	
前年度補助事業 の主な実施概要	<p>JR下山門駅のバリアフリー化整備(平成26年度へ繰越)</p> <p>【参考】 JR下山門駅における段差解消として、駅入口から改札口および2番ホームへ渡るエレベーター3基の設置に対して、その整備費用の一部について補助交付を行った。</p>				
補助金交付 による効果	<p>高齢者や障がいがある人をはじめ全ての鉄道利用者が、利用しやすい安全で快適な交通環境の創出に向け、公共交通のバリアフリー化の促進に寄与している。</p> <p>【参考】 国の「移動等円滑化の促進に関する基本方針」並びに「福岡市バリアフリー基本計画」において、平成32年度までに乗降客数3千人以上の駅のバリアフリー化について、原則100%整備する目標を設定している。</p>				

※1:金額総額であり、複数の団体等に交付している場合、個々の団体等への交付額等を示すものではありません。なお、当該年度は当初予算額を記載しております。また、前年度決算額について、補助額の確定が未了のものは、交付件数および交付決定額を外数として()書きで記載しております。